情報公開文書

作成日：2019 年 10 月 25 日
更新日：2024 年 10 月 27 日

1．研究課題名：産婦人科 Cadaver Workshop の開催

2．研究の目的
本研究で予定している臨床解剖実習では、臨床解剖学的知識の向上および手術・検査手技向上のため産婦人科領域の解剖を行い、本学の学部生・大学院生・研究生、産婦人科医師（但し、必ず本学の医師と一緒に行うが、学外の医師も含まれます）、および医師以外の医療従事者の教育に資することを目的としています。このような実習により、より多くの産婦人科医師が、確実な治療を行うことができるようになり、安全な医療の提供が期待できることから、医師だけでなく、患者にとって大きな意義があると考えられます。

3．研究期間：2019 年 11 月 20 日から 2029 年 11 月 19 日まで行います。

4．研究の倫理審査と許可
本研究で行われる「臨床解剖」は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施します。
実際に利用する内容・日時・必要なご献体数などを決定後、CAL 運営委員会に利用申請を行い、CAL 利用許可証が発行されたのち、解剖を実施します。

5．研究の方法
解剖実習プログラムのテーマは、婦人科悪性腫瘍手術に必要な骨盤内解剖や後腹膜解剖の研究と教育であり、臨床解剖に関する研修会やハンズオンセミナーを開催することも検討しています。実習では実演者 2-3 名が解剖実習を行い、周囲の見学者に対して解説や講義を行います。

6．研究機関の名称・研究責任者
研究機関：京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学教室
研究責任者：万代昌紀

7．試料・情報の利用目的・利用方法
1）ご遺体は形態形成機構学講座に搬入後、同講座の指導で十分な知識と経験を有する医学部総合解剖センターの専門の技術職員の手によってご献体番号を与えられ、CAL 運営組織・CAL 利用者には個人情報は一切伝わりません。
2）一覧表は形態形成機構学教室内の施錠可能な部屋で保管されます。コンピュータで保管する情報は ID 番号で管理し、個人が特定できないようにします。
3）研究に関わる関係者は、個人情報の保護について、適用される法令、条例等を遵守します。
4）本教育の成果の発表に、得られた解剖学的情報や写真・動画・CT 画像を用いる場合、ID 化とともに個人を特定できる部位（顔およびその他の身体的な特徴）を加工し、最大限の個人情報保護に注意を払います。
5）ご献体のご遺族から同意撤回の申し出があった場合、本臨床解剖のために得られた情報はすべて再現不可能な形で廃棄し、臨床解剖には用いません。

8．試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称：万代昌紀

9．研究資金・利益相反

本研究は、婦人科学産科学教室の運営費交付金（教育研究費）を使用します。利益相反については、手術機器のレンタル、機器操作方法指導のために9で示す企業からの協力を得る事があります。「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

10. 協力機関

本研究は以下の企業から協力を得る可能性があります。

- KARL STORZ Endoscopy Japan
- オリンパス株式会社
- 日本ストライカー株式会社
- 日本メドトロニック株式会社
- ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
- コンメッド・ジャパン株式会社
- 株式会社メディコン
- リバーフィールド株式会社
- アトムメディカル株式会社

11. 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

(ア) 研究課題における相談窓口
担当者:濱西潤三、砂田真澄
所属:京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学教室
連絡先:郵便 606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
連絡方法:電話 075-751-3269

(イ) 研究機関の相談窓口
① 京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛
連絡方法: 電話:075-753-9301 E-mail:060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp